

# Full Speed

Ad Technology & Marketing Company

平成25年7月26日

各 位

上場会社名 株式会社フルスピード  
(コード番号: 2159 東証マザーズ)  
本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号  
代表者 代表取締役社長 田中 伸明  
問合せ先 管理本部副本部長 栗田 洋  
電話番号 03-5728-4460 (代表)  
(URL <http://www.fullspeed.co.jp/>)

(訂正)「平成25年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成25年7月11日に開示いたしました「親会社フリービット株式会社に係る特別調査委員会の調査報告書受領、当社による調査内容及び当社の各期連結財務諸表に与える影響の概要並びに今後の対応について」でお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成24年12月7日付「平成25年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせします。

訂正箇所が多数に上るため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



## 平成25年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月7日

上場会社名 株式会社フルスピード 上場取引所 東  
コード番号 2159 URL http://www.fullspeed.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 伸明  
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 保坂 健志 TEL 03-5728-4460  
四半期報告書提出予定日 平成24年12月13日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
四半期決算説明会開催の有無: 有 アナリスト・機関投資家向け

百万円未満切捨て

### 1. 平成25年4月期第2四半期の連結業績(平成24年5月1日～平成24年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第2四半期	5,348	-	230	-	217	-	△554	-
24年4月期第2四半期	<u>6,553</u>	<u>△24.7</u>	<u>306</u>	-	<u>260</u>	-	<u>81</u>	-

(注) 包括利益 25年4月期第2四半期 △550百万円(-%) 24年4月期第2四半期 68百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年4月期第2四半期	△3,768.79	-
24年4月期第2四半期	<u>552.48</u>	<u>551.98</u>

当社は、平成24年4月期に決算日を7月31日から4月30日に変更しており、25年4月期第2四半期は比較対象期間が異なることから、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年4月期第2四半期	2,910	<u>△1</u>	<u>△0.0</u>	<u>△7.41</u>
24年4月期	3,257	<u>571</u>	<u>10.9</u>	<u>3,733.19</u>

(参考) 自己資本 25年4月期第2四半期 △1百万円 24年4月期 549百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	-	0.00	-	0.00	0.00
25年4月期	-	0.00	-	-	-
25年4月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成25年4月期の連結業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	-	700	-	640	-	△250	-	△1,699.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

平成24年4月期に決算日を7月31日から4月30日に変更しており、比較対象期間が異なることから、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年4月期2Q	147,100株	24年4月期	147,100株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年4月期2Q	ー株	24年4月期	ー株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年4月期2Q	147,100株	24年4月期2Q	147,100株
----------	----------	----------	----------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT Dnetで同日開示しています。

（四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、平成24年12月10日（月）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会の動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(6) セグメント情報等	13
(7) 重要な後発事象	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要や堅調な個人消費に支えられ緩やかな回復基調にあるものの、欧州債務危機問題の長期化に加え、中国の経済成長の減速懸念などの影響から依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループの主たる事業領域である国内におけるインターネット広告市場は、平成23年には8,062億円（前年比4.1%増）の市場（『2011年（平成23年）日本の広告費』・株式会社電通、平成24年2月公表）にまで拡大しており、テレビ広告市場に次ぐ第二のメディアとして注目されております。また、iPhone/iPadやAndroid端末などに代表されるスマートフォン/スマートデバイスなどの急速な普及や、Facebook、Google+、Twitterなどに代表されるソーシャル・メディア領域におけるユーザー数の急増などの世界的なインターネットビジネス環境の変化を背景に、今後も新たなビジネス領域やそれに付随する新しいサービスが生まれることが見込まれていることから、更なる市場の拡大が期待されております。

このような事業環境の下、当社グループは技術系インターネット総合広告代理店として、リスティング広告(\*1)・SEM広告ソリューション(\*2)・アフィリエイト広告(\*3)などのインターネット広告代理店事業を軸に、ASP(\*4)・ディスプレイ型アドネットワーク(\*5)をはじめとするアドネットワーク事業などの各種サービスの提供に注力してまいりました。また、独自の技術力を背景とした主力のインターネット広告代理店事業やアドネットワーク事業などの既存事業の拡販を強化している一方で、新しいサービスの拡販体制の強化や将来の軸となる新規ビジネス領域の構築に向けて、営業体制の再編・増強や技術系人材の採用強化を進めるとともに、インターネット上の各種プロモーションを統合管理できる独自のプラットフォーム「AdMatrix（アドマトリックス）」の開発や、スマートフォン向け広告事業領域の拡張を目的としたディスプレイ型アドネットワーク領域への各種施策を加速させ、当第2四半期連結累計期間において集中的に投資を行ってまいりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,348,314千円、営業利益230,361千円、経常利益217,964千円となりました。

また、ノンコア事業の整理の一環で株式譲渡をいたしました当時のアパレル子会社（旧ギルドコーポレーション株式会社）に対する貸付金及び債務保証については、当第2四半期連結会計期間における当社及び借入金金融機関に対する返済遅延の状況から、貸倒損失及び債務保証の履行請求を受ける可能性が高まったと判断し、貸付金額及び債務保証金額の全額について貸倒引当金及び債務保証損失引当金を計上したことから、四半期純損失は554,389千円となりました。

事業の区分別の営業概況は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、主力の事業領域をより明確にすることを目的として、次のとおり事業の区分を変更しております。

[変更後の事業の区分]

- ①インターネット広告代理店事業：リスティング広告、SEM広告ソリューション、アフィリエイト広告、純広告、ソーシャル・メディア他
- ②アドネットワーク事業：ASP（アフィリエイト・サービス・プロバイダー）、ディスプレイ型アドネットワーク、スマートフォン向け広告配信
- ③情報メディア事業：情報メディアサイトの運営、成功報酬型メディアサイトの運営、SEOオンラインサービス、ディレクトリ登録サービスの販売
- ④クリエイティブ事業：サイト制作、LP制作、バナー制作、アプリ開発

#### <インターネット広告代理店事業>

当第2四半期連結累計期間において営業体制を再編し、首都圏の中価格帯を中心とした従来のクライアント層に加え、ナショナルクライアント・大企業向けや地方企業・小規模向けの販売体制を強化することにより、リスティング広告やSEM広告ソリューション、アフィリエイト広告などの取引量の増加に向けた新規顧客開拓の取り組みに注力してまいりました。また、今期より新たな展開として、広告運用最適化プラットフォーム「AdMatrix（アドマトリックス）」の運用を開始し、リスティング広告、SEO、スマートフォン広告などの各種プロモーションを統合管理・全体最適化することにより、運用効率や広告効果の向上を図る取り組みを行ってまいりました。

以上の結果、当事業の売上高は、当第2四半期連結累計期間では4,012,129千円となりました。

#### <アドネットワーク事業>

当事業は、当社が営むディスプレイ型アドネットワーク事業、当社の子会社である株式会社フォーイットが営むアフィリエイト・サービス・プロバイダー事業等の販売を対象としております。株式会社フォーイットが行うアフィリエイト・サービス・プロバイダー事業につきましては、自社開発したアフィリエイトプログラム「アフィリエイトB」及び「アフィリエイトBモバイル」の営業活動に注力した結果、当事業におけるプロモーション数・提携サイト数ともに、引き続き順調に増加いたしました。また、Facebook用販売促進ツール「Apps-B」等の新サービスの展開による更なる拡販にも努めてまいりました。また、ディスプレイ型アドネットワークにつきましては、ディスプレイ広告総合マネジメントプラットフォーム「FullSpeed Ad Exchange（フルスピード・アドエクスチェンジ）」を引き続き着実に販売しているほか、新たなサービスの開発・研究にも積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当事業の売上高は、当第2四半期連結累計期間では2,071,513千円となりました。

<情報メディア事業>

当事業は、情報メディアサイトの運営、成功報酬型メディアサイトの運営、SEOオンラインサービス、ディレクトリ登録サービス等の販売を対象としております。

情報メディアサイトにつきましては、2012年4月末まで子会社であった株式会社ベッコアメ・インターネットの売却に伴い、売上高は減少となるものの、新たな情報メディア事業への取り組みを積極的に行ってまいりました。

以上の結果、当事業の売上高は、当第2四半期連結累計期間では35,286千円となりました。

<クリエイティブ事業>

これまでの実績から蓄積されたノウハウを活かし、SEOやユーザビリティを考慮したサイト制作（Webサイト・スマホ最適化サイト・Facebookページ等）やLP制作・バナー制作を中心に受注量は安定的に推移致しました。

以上の結果、当事業の売上高は、当第2四半期連結累計期間では24,685千円となりました。

- \*1 リスティング広告 : 検索したキーワードに応じて、検索エンジンの検索結果のページに設定された広告枠に表示されるテキスト広告。
- \*2 SEM広告ソリューション : 検索エンジンから自社Webサイトへの訪問者を増やしたい顧客に対して、SEO（検索エンジン最適化）をはじめとする各種インターネット広告手法を用いて課題解決するサービス。
- \*3 アフィリエイト広告 : Webサイトやブログ等が企業サイトへバナーやテキスト広告を張り、閲覧者がその広告を経由して当該企業のサイトで会員登録したり商品を購入したりすると、サイトの運営者に報酬が支払われるという成果報酬型の広告手法。
- \*4 ASP（アフィリエイト・サービス・プロバイダー） : 広告主とリンク元となるサイト運営者を仲介する業者。
- \*5 ディスプレイ型アドネットワーク : 複数のWebサイトの広告枠を束ね、その広告枠にディスプレイ広告を配信する広告ネットワーク。複数の広告ネットワーク間で連携する仕組みとして、SSP（Supply Side Platform）やDSP（Demand Side Platform）、RTB（Real Time Bidding）といったテクノロジーの発展によって独自の市場を形成し、今後の高い成長が期待されている分野。

（当第2四半期連結累計期間における事業区分別販売実績）

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 （自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日）		
	金額（千円）	構成比（%）	前年同期比（%）
インターネット広告代理店事業	4,012,129	75.0	—
リスティング広告	2,322,149	43.4	—
SEM広告ソリューション	695,861	13.0	—
アフィリエイト広告	854,441	16.0	—
純広告	90,179	1.7	—
ソーシャル・メディア他	49,496	0.9	—
アドネットワーク事業	2,071,513	38.7	—
情報メディア事業	35,286	0.7	—
クリエイティブ事業	24,685	0.5	—
消去	△795,299	△14.9	—
合計	5,348,314	100.0	—

（注）平成24年4月期は決算期変更により、平成23年8月1日から平成24年4月30日までの9ヶ月間となっております。これに伴い、前第2四半期連結累計期間（平成23年8月1日～平成24年1月31日）と当第2四半期連結累計期間（平成24年5月1日～平成24年10月31日）とは対象期間が異なっておりますので、前年同四半期連結累計期間との比較は行っておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

流動資産は2,454,098千円となり、前連結会計年度末に比べて455,697千円減少しました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は455,922千円となり、前連結会計年度末に比べて108,004千円増加しました。これは、主に本社移転等に伴う固定資産の取得によるものであります。

(負債)

流動負債は1,760,160千円となり、前連結会計年度末に比べて366,762千円減少しました。これは、主に買掛金の減少と、短期借入金の減少によるものであります。

固定負債は1,150,950千円となり、前連結会計年度末に比べて591,400千円増加しました。これは、主に債務保証損失引当金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は△1,089千円となり、前連結会計年度末に比べて572,331千円減少しました。これは、四半期純損失554,389千円を計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は938,054千円となり、前連結会計年度末に比べ275,944千円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、98,809千円のマイナスとなりました。これは、税金等調整前四半期純損失527,467千円の計上、減価償却費42,554千円、売上債権の減少13,673千円があったものの、仕入債務の減少267,815千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、171,516千円のマイナスとなりました。これは、貸付金の回収による収入60,738千円があったものの、本社移転等に伴う有形固定資産の取得による支出108,781千円、無形固定資産の取得による支出76,171千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5,618千円のマイナスとなりました。これは、長期借入金による収入300,000千円があったものの、短期借入金の純減少117,000千円、長期借入金の返済による支出188,600千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月7日に連結業績予想の修正を行っております。

平成24年6月14日に発表いたしました平成25年4月期第2四半期連結累計期間連結業績予想との差異及び平成25年4月期通期連結業績予想の修正との比較は以下のとおりであります。なお、詳細につきましては、平成24年12月7日に発表いたしました「特別損失の計上ならびに平成25年4月期第2四半期連結累計期間連結業績予想との差異及び平成25年4月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成25年4月期第2四半期連結累計期間連結業績予想との差異（平成24年5月1日～平成24年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,130	250	220	150	1,019.71
実績値 (B)	5,348	230	217	△554	△3,768.79
増減額 (B-A)	218	△20	△3	△704	—
増減率 (%)	4.2	△8.0	△1.3	△469.6	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成24年4月期第2四半期)	6,634	336	299	126	860.95

(注) 平成24年4月期第2四半期の連結業績実績には、既に売却済みの株式会社ベッコアメ・インターネットの業績が含まれております。

平成25年4月期通期連結業績予想の修正（平成24年5月1日～平成25年4月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,000	700	640	490	3,331.07
今回修正予想 (B)	11,000	700	640	△250	△1,699.52
増減額 (B-A)	—	—	—	△740	—
増減率 (%)	—	—	—	△151.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年4月期)	10,116	527	486	532	3,620.34

(注) 平成24年4月期通期の連結業績実績には、既に売却済みの株式会社ベッコアメ・インターネットの業績が含まれております。また、決算期変更に伴い9ヶ月の変則決算となるため、平成23年8月1日から平成24年4月30日までの9ヶ月間を集計したものであります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社である株式会社フライトは平成24年10月に清算が終了したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。



### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、平成23年5月16日にノンコア事業の整理の一環で株式譲渡をいたしました当時のアパレル子会社(旧ギルドコーポレーション株式会社)に対して、資金の貸し付け及び同社の金融機関に対する借入債務の連帯保証を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間における当社及び借入金融機関に対する同社からの返済遅延の状況から、貸付金の貸倒及び連帯保証の履行請求を受ける可能性が高まったと判断し、当第2四半期連結累計期間において貸倒引当金繰入額及び債務保証損失引当金繰入額を特別損失として計上いたしました。その結果、純資産が大幅に減少し、当該状況により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

そこで当社グループは当該状況を解消すべく、引き続き次の施策を実施してまいります。

今回の特別損失の計上により、四半期純損失を計上することとなりましたが、当社グループの事業は継続して営業利益を創出しており、今後も引き続き、定評のあるSEO、リスティング広告、アフィリエイト広告などを中心に、インターネットマーケティングの各種サービスの提供に注力することで、当社グループとして早期の業績回復を実現するとともに、さらには、安定した収益基盤と強固な財務基盤の構築に努めてまいります。

また資金面でも、親会社であるフリービット株式会社との連携強化の一環として、親会社が実施しているグループファイナンスを通じて、当社は資金需要に応じて親会社から必要資金を柔軟かつ機動的に調達できる体制を構築していること、また、平成24年12月7日開催の取締役会においてフリービット株式会社を割当先とする第三者割当増資を決議しているため、問題はないものと判断しております。従いまして、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,213,999	938,054
受取手形及び売掛金	1,403,327	1,383,180
商品	696	396
未収入金	2,679	5,425
前払費用	25,133	29,693
繰延税金資産	139,281	90,993
その他	175,204	53,102
貸倒引当金	△50,527	△46,749
流動資産合計	2,909,795	2,454,098
固定資産		
有形固定資産		
建物	73,507	143,512
減価償却累計額	△53,751	△75,547
建物(純額)	19,755	67,965
工具、器具及び備品	61,494	101,935
減価償却累計額	△55,059	△63,009
工具、器具及び備品(純額)	6,435	38,925
有形固定資産合計	26,190	106,890
無形固定資産		
ソフトウェア	20,864	73,180
のれん	2,276	1,274
その他	18,952	28,020
無形固定資産合計	42,093	102,476
投資その他の資産		
投資有価証券	63,720	65,014
長期貸付金	111,220	—
破産更生債権等	287,542	435,014
関係会社出資金	—	12,348
繰延税金資産	14,801	72,906
差入保証金	96,697	96,267
その他	20	20
貸倒引当金	△294,366	△435,014
投資その他の資産合計	279,635	246,556
固定資産合計	347,918	455,922
資産合計	3,257,714	2,910,020

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,193,076	925,261
短期借入金	337,000	220,000
1年内返済予定の長期借入金	277,200	377,200
未払金	44,630	35,911
未払法人税等	<u>93,710</u>	<u>49,252</u>
未払消費税等	61,354	23,751
賞与引当金	27,200	19,800
その他	<u>92,751</u>	<u>108,983</u>
流動負債合計	<u>2,126,922</u>	<u>1,760,160</u>
固定負債		
長期借入金	559,550	570,950
債務保証損失引当金	—	580,000
固定負債合計	<u>559,550</u>	<u>1,150,950</u>
負債合計	<u>2,686,472</u>	<u>2,911,110</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	746,611	746,611
資本剰余金	717,611	717,611
利益剰余金	<u>△919,573</u>	<u>△1,473,962</u>
株主資本合計	<u>544,648</u>	<u>△9,740</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,503	8,651
その他の包括利益累計額合計	<u>4,503</u>	<u>8,651</u>
少数株主持分	22,089	—
純資産合計	<u>571,241</u>	<u>△1,089</u>
負債純資産合計	<u>3,257,714</u>	<u>2,910,020</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
売上高	6,553,150	5,348,314
売上原価	5,113,027	4,344,172
売上総利益	1,440,123	1,004,142
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	403,305	365,727
地代家賃	77,318	65,875
減価償却費	25,469	34,026
のれん償却額	68,612	1,001
貸倒引当金繰入額	11,053	5,806
賞与引当金繰入額	12,666	17,012
その他	535,248	284,329
販売費及び一般管理費合計	1,133,675	773,780
営業利益	306,448	230,361
営業外収益		
受取利息	1,926	2,344
受取配当金	1,724	349
債権譲渡益	—	1,058
その他	1,025	4,542
営業外収益合計	4,676	8,294
営業外費用		
支払利息	28,204	10,681
支払手数料	5,532	9,014
貸倒引当金繰入額	14,762	—
その他	2,166	995
営業外費用合計	50,665	20,691
経常利益	260,459	217,964
特別利益		
投資有価証券売却益	10	—
特別利益合計	10	—
特別損失		
固定資産除却損	24,627	—
減損損失	12,666	—
投資有価証券評価損	48,787	53
本社移転費用	—	9,173
貸倒引当金繰入額	—	※1 154,827
債務保証損失引当金繰入額	—	※1 580,000
その他	11,858	1,378
特別損失合計	97,938	745,431
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	162,530	△527,467
法人税、住民税及び事業税	76,193	39,402
法人税等調整額	8,677	△12,113
法人税等合計	84,870	27,288
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	77,660	△554,756
少数株主損失(△)	△3,609	△366
四半期純利益又は四半期純損失(△)	81,270	△554,389

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	77,660	△554,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,901	4,147
その他の包括利益合計	△8,901	4,147
四半期包括利益	<u>68,759</u>	△550,608
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>72,368</u>	△550,241
少数株主に係る四半期包括利益	△3,609	△366

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	162,530	△527,467
減価償却費	66,025	42,554
<u>減損損失</u>	<u>12,666</u>	<u>二</u>
のれん償却額	68,612	1,001
固定資産除却損	24,627	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△10	1,378
投資有価証券評価損(△は益)	48,787	53
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23,701	158,042
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	—	580,000
受取利息及び受取配当金	△3,651	△2,694
支払利息	28,204	10,681
売上債権の増減額(△は増加)	△307,870	13,673
仕入債務の増減額(△は減少)	33,664	△267,815
未払債務の増減額(△は減少)	△56,443	13,841
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7,984	△37,602
その他	22,465	9,454
小計	115,325	△4,899
利息及び配当金の受取額	3,660	2,446
利息の支払額	△27,616	△12,177
法人税等の支払額	△94,624	△84,178
法人税等の還付額	23,626	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,370	△98,809
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△65,999	△108,781
無形固定資産の取得による支出	△12,212	△76,171
投資有価証券の売却による収入	1,210	3,720
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	26,386	—
貸付金の回収による収入	12,075	60,738
差入保証金の差入による支出	△1,768	△90,664
差入保証金の回収による収入	34,519	73,714
関係会社出資金の払込による支出	—	△12,348
その他	△14,551	△21,723
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,339	△171,516

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	166,502	△117,000
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△356,484	△188,600
配当金の支払額	△88	△18
その他	△22,873	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△212,943	△5,618
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△212,912	△275,944
現金及び現金同等物の期首残高	1,500,360	1,213,999
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 1,287,448	※1 938,054

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間において、四半期純損失を554,389千円計上したことにより、株主資本の金額は前連結会計年度末に比べて、554,389千円減少しております。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年8月1日 至平成24年1月31日）

「II 当第2四半期連結累計期間 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年5月1日 至平成24年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (千円)
	インターネット 広告代理店事業 (千円)	アドネット ワーク事業 (千円)	情報メディア 事業 (千円)	クリエイティブ 事業 (千円)	計 (千円)	
売上高						
外部顧客への 売上高	4,011,622	1,277,588	34,417	24,685	5,348,314	5,348,314
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	507	793,924	868	—	795,299	795,299
計	4,012,129	2,071,513	35,286	24,685	6,143,614	6,143,614
セグメント利益 又は損失(△)	139,149	258,892	△2,611	9,616	405,046	405,046

(注) 前連結会計年度において、株式会社JPS、株式会社ベッコアメ・インターネットを連結の範囲から除外したため、報告セグメントから「データセンター事業」、「その他」を除外しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	405,046
「その他」の区分利益	—
セグメント間取引消去	△483
全社費用（注）	174,201
四半期連結損益計算書の営業利益	230,361

(注) 全社費用は、各報告セグメントに配分していない営業費用であり、主に管理部門に係る費用であります。



3. 報告セグメントの変更等に関する事項

インターネットマーケティング事業の展開に専念することを目的とした組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業」、「アフィリエイトサービスプロバイダー事業」、「インターネットメディア事業」及び「データセンター事業」の4区分から、「インターネット広告代理店事業」、「アドネットワーク事業」、「情報メディア事業」及び「クリエイティブ事業」の4区分に変更しております。

なお、当該報告セグメントの変更を反映した前第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及びセグメント利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりです。

	報告セグメント						その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	インターネット 広告代理店事業 (千円)	アドネット ワーク事業 (千円)	情報メデ ィア事業 (千円)	クリエイ ティブ事業 (千円)	データセン ター事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への 売上高	4,249,355	816,077	<u>857,535</u>	28,824	<u>407,320</u>	<u>6,359,113</u>	<u>194,037</u>	<u>6,553,150</u>
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,200	822,089	1,309	—	10,570	835,169	—	835,169
計	4,250,555	1,638,167	<u>858,845</u>	28,824	<u>417,891</u>	<u>7,194,283</u>	<u>194,037</u>	<u>7,388,320</u>
セグメント利益	265,206	194,257	<u>△4,645</u>	9,110	<u>36,470</u>	<u>500,399</u>	<u>△9,802</u>	<u>490,597</u>

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、CATV/ISP向け専用線サービス等を含んでおります。

4. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	<u>500,399</u>
「その他」の区分利益	<u>△9,802</u>
セグメント間取引消去	517
全社費用(注)	184,666
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>306,448</u>

(注) 全社費用は、各報告セグメントに配分していない営業費用であり、主に管理部門に係る費用であります。

(7) 重要な後発事象

当社は、平成24年12月7日開催の取締役会において、親会社であるフリービット株式会社に対して、第三者割当により当社普通株式を発行することを決議いたしました。

1. 募集の方法 第三者割当増資
2. 発行する株式の種類及び数、発行価額、発行総額、発行価額のうち資本へ組入れる額
  - (1) 発行する株式の種類及び数 普通株式 5,200株
  - (2) 発行価額 1株につき金 19,150円
  - (3) 発行総額 99,580,000円
  - (4) 発行価額のうち資本へ組入れる額 1株につき金 9,575円
3. 発行のスケジュール

払込期日 平成24年12月26日
4. 資金使途

運転資金等

(訂正前)



## 平成25年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月7日

上場会社名 株式会社フルスピード 上場取引所 東  
コード番号 2159 URL http://www.fullspeed.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 伸明  
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 保坂 健志 TEL 03-5728-4460  
四半期報告書提出予定日 平成24年12月13日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
四半期決算説明会開催の有無: 有 アナリスト・機関投資家向け

百万円未満切捨て

### 1. 平成25年4月期第2四半期の連結業績(平成24年5月1日～平成24年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第2四半期	5,348	-	230	-	217	-	△554	-
24年4月期第2四半期	<u>6,634</u>	<u>△24.4</u>	<u>336</u>	-	<u>299</u>	-	<u>126</u>	-

(注) 包括利益 25年4月期第2四半期 △550百万円(-%) 24年4月期第2四半期 114百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年4月期第2四半期	△3,768.79	-
24年4月期第2四半期	<u>860.95</u>	<u>860.16</u>

当社は、平成24年4月期に決算日を7月31日から4月30日に変更しており、25年4月期第2四半期は比較対象期間が異なることから、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年4月期第2四半期	2,910	<u>48</u>	<u>1.7</u>	<u>332.50</u>
24年4月期	3,257	<u>621</u>	<u>18.4</u>	<u>4,073.09</u>

(参考) 自己資本 25年4月期第2四半期 48百万円 24年4月期 599百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	-	0.00	-	0.00	0.00
25年4月期	-	0.00	-	-	-
25年4月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成25年4月期の連結業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	-	700	-	640	-	△250	-	△1,699.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

平成24年4月期に決算日を7月31日から4月30日に変更しており、比較対象期間が異なることから、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年4月期2Q	147,100株	24年4月期	147,100株
25年4月期2Q	一株	24年4月期	一株
25年4月期2Q	147,100株	24年4月期2Q	147,100株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT Dnetで同日開示しています。

（四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、平成24年12月10日（月）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会の動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(6) セグメント情報等	13
(7) 重要な後発事象	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要や堅調な個人消費に支えられ緩やかな回復基調にあるものの、欧州債務危機問題の長期化に加え、中国の経済成長の減速懸念などの影響から依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループの主たる事業領域である国内におけるインターネット広告市場は、平成23年には8,062億円（前年比4.1%増）の市場（『2011年（平成23年）日本の広告費』・株式会社電通、平成24年2月公表）にまで拡大しており、テレビ広告市場に次ぐ第二のメディアとして注目されております。また、iPhone/iPadやAndroid端末などに代表されるスマートフォン/スマートデバイスなどの急速な普及や、Facebook、Google+、Twitterなどに代表されるソーシャル・メディア領域におけるユーザー数の急増などの世界的なインターネットビジネス環境の変化を背景に、今後も新たなビジネス領域やそれに付随する新しいサービスが生まれることが見込まれていることから、更なる市場の拡大が期待されております。

このような事業環境の下、当社グループは技術系インターネット総合広告代理店として、リスティング広告(\*1)・SEM広告ソリューション(\*2)・アフィリエイト広告(\*3)などのインターネット広告代理店事業を軸に、ASP(\*4)・ディスプレイ型アドネットワーク(\*5)をはじめとするアドネットワーク事業などの各種サービスの提供に注力してまいりました。また、独自の技術力を背景とした主力のインターネット広告代理店事業やアドネットワーク事業などの既存事業の拡販を強化している一方で、新しいサービスの拡販体制の強化や将来の軸となる新規ビジネス領域の構築に向けて、営業体制の再編・増強や技術系人材の採用強化を進めるとともに、インターネット上の各種プロモーションを統合管理できる独自のプラットフォーム「AdMatrix（アドマトリックス）」の開発や、スマートフォン向け広告事業領域の拡張を目的としたディスプレイ型アドネットワーク領域への各種施策を加速させ、当第2四半期連結累計期間において集中的に投資を行ってまいりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,348,314千円、営業利益230,361千円、経常利益217,964千円となりました。

また、ノンコア事業の整理の一環で株式譲渡をいたしました当時のアパレル子会社（旧ギルドコーポレーション株式会社）に対する貸付金及び債務保証については、当第2四半期連結会計期間における当社及び借入金金融機関に対する返済遅延の状況から、貸倒損失及び債務保証の履行請求を受ける可能性が高まったと判断し、貸付金額及び債務保証金額の全額について貸倒引当金及び債務保証損失引当金を計上したことから、四半期純損失は554,389千円となりました。

事業の区分別の営業概況は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、主力の事業領域をより明確にすることを目的として、次のとおり事業の区分を変更しております。

[変更後の事業の区分]

- ①インターネット広告代理店事業：リスティング広告、SEM広告ソリューション、アフィリエイト広告、純広告、ソーシャル・メディア他
- ②アドネットワーク事業：ASP（アフィリエイト・サービス・プロバイダー）、ディスプレイ型アドネットワーク、スマートフォン向け広告配信
- ③情報メディア事業：情報メディアサイトの運営、成功報酬型メディアサイトの運営、SEOオンラインサービス、ディレクトリ登録サービスの販売
- ④クリエイティブ事業：サイト制作、LP制作、バナー制作、アプリ開発

#### <インターネット広告代理店事業>

当第2四半期連結累計期間において営業体制を再編し、首都圏の中価格帯を中心とした従来のクライアント層に加え、ナショナルクライアント・大企業向けや地方企業・小規模向けの販売体制を強化することにより、リスティング広告やSEM広告ソリューション、アフィリエイト広告などの取引量の増加に向けた新規顧客開拓の取り組みに注力してまいりました。また、今期より新たな展開として、広告運用最適化プラットフォーム「AdMatrix（アドマトリックス）」の運用を開始し、リスティング広告、SEO、スマートフォン広告などの各種プロモーションを統合管理・全体最適化することにより、運用効率や広告効果の向上を図る取り組みを行ってまいりました。

以上の結果、当事業の売上高は、当第2四半期連結累計期間では4,012,129千円となりました。

#### <アドネットワーク事業>

当事業は、当社が営むディスプレイ型アドネットワーク事業、当社の子会社である株式会社フォーイットが営むアフィリエイト・サービス・プロバイダー事業等の販売を対象としております。株式会社フォーイットが行うアフィリエイト・サービス・プロバイダー事業につきましては、自社開発したアフィリエイトプログラム「アフィリエイトB」及び「アフィリエイトBモバイル」の営業活動に注力した結果、当事業におけるプロモーション数・提携サイト数ともに、引き続き順調に増加いたしました。また、Facebook用販売促進ツール「Apps-B」等の新サービスの展開による更なる拡販にも努めてまいりました。また、ディスプレイ型アドネットワークにつきましては、ディスプレイ広告総合マネジメントプラットフォーム「FullSpeed Ad Exchange（フルスピード・アドエクスチェンジ）」を引き続き着実に販売しているほか、新たなサービスの開発・研究にも積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当事業の売上高は、当第2四半期連結累計期間では2,071,513千円となりました。

<情報メディア事業>

当事業は、情報メディアサイトの運営、成功報酬型メディアサイトの運営、SEOオンラインサービス、ディレクトリ登録サービス等の販売を対象としております。

情報メディアサイトにつきましては、2012年4月末まで子会社であった株式会社ベッコアメ・インターネットの売却に伴い、売上高は減少となるものの、新たな情報メディア事業への取り組みを積極的に行ってまいりました。

以上の結果、当事業の売上高は、当第2四半期連結累計期間では35,286千円となりました。

<クリエイティブ事業>

これまでの実績から蓄積されたノウハウを活かし、SEOやユーザビリティを考慮したサイト制作（Webサイト・スマホ最適化サイト・Facebookページ等）やLP制作・バナー制作を中心に受注量は安定的に推移致しました。

以上の結果、当事業の売上高は、当第2四半期連結累計期間では24,685千円となりました。

- \*1 リスティング広告 : 検索したキーワードに応じて、検索エンジンの検索結果のページに設定された広告枠に表示されるテキスト広告。
- \*2 SEM広告ソリューション : 検索エンジンから自社Webサイトへの訪問者を増やしたい顧客に対して、SEO（検索エンジン最適化）をはじめとする各種インターネット広告手法を用いて課題解決するサービス。
- \*3 アフィリエイト広告 : Webサイトやブログ等が企業サイトへバナーやテキスト広告を張り、閲覧者がその広告を経由して当該企業のサイトで会員登録したり商品を購入したりすると、サイトの運営者に報酬が支払われるという成果報酬型の広告手法。
- \*4 ASP（アフィリエイト・サービス・プロバイダー） : 広告主とリンク元となるサイト運営者を仲介する業者。
- \*5 ディスプレイ型アドネットワーク : 複数のWebサイトの広告枠を束ね、その広告枠にディスプレイ広告を配信する広告ネットワーク。複数の広告ネットワーク間で連携する仕組みとして、SSP（Supply Side Platform）やDSP（Demand Side Platform）、RTB（Real Time Bidding）といったテクノロジーの発展によって独自の市場を形成し、今後の高い成長が期待されている分野。

（当第2四半期連結累計期間における事業区分別販売実績）

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 （自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日）		
	金額（千円）	構成比（%）	前年同期比（%）
インターネット広告代理店事業	4,012,129	75.0	—
リスティング広告	2,322,149	43.4	—
SEM広告ソリューション	695,861	13.0	—
アフィリエイト広告	854,441	16.0	—
純広告	90,179	1.7	—
ソーシャル・メディア他	49,496	0.9	—
アドネットワーク事業	2,071,513	38.7	—
情報メディア事業	35,286	0.7	—
クリエイティブ事業	24,685	0.5	—
消去	△795,299	△14.9	—
合計	5,348,314	100.0	—

（注）平成24年4月期は決算期変更により、平成23年8月1日から平成24年4月30日までの9ヶ月間となっております。これに伴い、前第2四半期連結累計期間（平成23年8月1日～平成24年1月31日）と当第2四半期連結累計期間（平成24年5月1日～平成24年10月31日）とは対象期間が異なっておりますので、前年同四半期連結累計期間との比較は行っておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

流動資産は2,454,098千円となり、前連結会計年度末に比べて455,697千円減少しました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は455,922千円となり、前連結会計年度末に比べて108,004千円増加しました。これは、主に本社移転等に伴う固定資産の取得によるものであります。

(負債)

流動負債は1,710,160千円となり、前連結会計年度末に比べて366,762千円減少しました。これは、主に未払法人税等の減少と、買掛金の減少によるものであります。

固定負債は1,150,950千円となり、前連結会計年度末に比べて591,400千円増加しました。これは、主に債務保証損失引当金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は48,910千円となり、前連結会計年度末に比べて572,331千円減少しました。これは、四半期純損失554,389千円を計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は938,054千円となり、前連結会計年度末に比べ275,944千円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、98,809千円のマイナスとなりました。これは、税金等調整前四半期純損失527,467千円の計上、減価償却費42,554千円、売上債権の減少13,673千円があったものの、仕入債務の減少267,815千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、171,516千円のマイナスとなりました。これは、貸付金の回収による収入60,738千円があったものの、本社移転等に伴う有形固定資産の取得による支出108,781千円、無形固定資産の取得による支出76,171千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5,618千円のマイナスとなりました。これは、長期借入金による収入300,000千円があったものの、短期借入金の純減少117,000千円、長期借入金の返済による支出188,600千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月7日に連結業績予想の修正を行っております。

平成24年6月14日に発表いたしました平成25年4月期第2四半期連結累計期間連結業績予想との差異及び平成25年4月期通期連結業績予想の修正との比較は以下のとおりであります。なお、詳細につきましては、平成24年12月7日に発表いたしました「特別損失の計上ならびに平成25年4月期第2四半期連結累計期間連結業績予想との差異及び平成25年4月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成25年4月期第2四半期連結累計期間連結業績予想との差異（平成24年5月1日～平成24年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,130	250	220	150	1,019.71
実績値 (B)	5,348	230	217	△554	△3,768.79
増減額 (B-A)	218	△20	△3	△704	—
増減率 (%)	4.2	△8.0	△1.3	△469.6	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成24年4月期第2四半期)	6,634	336	299	126	860.95

(注) 平成24年4月期第2四半期の連結業績実績には、既に売却済みの株式会社ベッコアメ・インターネットの業績が含まれております。

平成25年4月期通期連結業績予想の修正（平成24年5月1日～平成25年4月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,000	700	640	490	3,331.07
今回修正予想 (B)	11,000	700	640	△250	△1,699.52
増減額 (B-A)	—	—	—	△740	—
増減率 (%)	—	—	—	△151.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年4月期)	10,116	527	486	532	3,620.34

(注) 平成24年4月期通期の連結業績実績には、既に売却済みの株式会社ベッコアメ・インターネットの業績が含まれております。また、決算期変更に伴い9ヶ月の変則決算となるため、平成23年8月1日から平成24年4月30日までの9ヶ月間を集計したものであります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社である株式会社フライトは平成24年10月に清算が終了したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。



### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、平成23年5月16日にノンコア事業の整理の一環で株式譲渡をいたしました当時のアパレル子会社（旧ギルドコーポレーション株式会社）に対して、資金の貸し付け及び同社の金融機関に対する借入債務の連帯保証を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間における当社及び借入金融機関に対する同社からの返済遅延の状況から、貸付金の貸倒及び連帯保証の履行請求を受ける可能性が高まったと判断し、当第2四半期連結累計期間において貸倒引当金繰入額及び債務保証損失引当金繰入額を特別損失として計上いたしました。その結果、純資産が大幅に減少し、当該状況により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

そこで当社グループは当該状況を解消すべく、引き続き次の施策を実施してまいります。

今回の特別損失の計上により、四半期純損失を計上することとなりましたが、当社グループの事業は継続して営業利益を創出しており、今後も引き続き、定評のあるSEO、リスティング広告、アフィリエイト広告などを中心に、インターネットマーケティングの各種サービスの提供に注力することで、当社グループとして早期の業績回復を実現するとともに、さらには、安定した収益基盤と強固な財務基盤の構築に努めてまいります。

また資金面でも、親会社であるフリービット株式会社との連携強化の一環として、親会社が実施しているグループファイナンスを通じて、当社は資金需要に応じて親会社から必要資金を柔軟かつ機動的に調達できる体制を構築していること、また、平成24年12月7日開催の取締役会においてフリービット株式会社を割当先とする第三者割当増資を決議しているため、問題はないものと判断しております。従いまして、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,213,999	938,054
受取手形及び売掛金	1,403,327	1,383,180
商品	696	396
未収入金	2,679	5,425
前払費用	25,133	29,693
繰延税金資産	139,281	90,993
その他	175,204	53,102
貸倒引当金	△50,527	△46,749
流動資産合計	2,909,795	2,454,098
固定資産		
有形固定資産		
建物	73,507	143,512
減価償却累計額	△53,751	△75,547
建物(純額)	19,755	67,965
工具、器具及び備品	61,494	101,935
減価償却累計額	△55,059	△63,009
工具、器具及び備品(純額)	6,435	38,925
有形固定資産合計	26,190	106,890
無形固定資産		
ソフトウェア	20,864	73,180
のれん	2,276	1,274
その他	18,952	28,020
無形固定資産合計	42,093	102,476
投資その他の資産		
投資有価証券	63,720	65,014
長期貸付金	111,220	—
破産更生債権等	287,542	435,014
関係会社出資金	—	12,348
繰延税金資産	14,801	72,906
差入保証金	96,697	96,267
その他	20	20
貸倒引当金	△294,366	△435,014
投資その他の資産合計	279,635	246,556
固定資産合計	347,918	455,922
資産合計	3,257,714	2,910,020

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,193,076	925,261
短期借入金	337,000	220,000
1年内返済予定の長期借入金	277,200	377,200
未払金	44,630	35,911
未払法人税等	<u>83,710</u>	<u>39,252</u>
未払消費税等	61,354	23,751
賞与引当金	27,200	19,800
その他	<u>52,751</u>	<u>68,983</u>
流動負債合計	<u>2,076,922</u>	<u>1,710,160</u>
固定負債		
長期借入金	559,550	570,950
債務保証損失引当金	—	580,000
固定負債合計	<u>559,550</u>	<u>1,150,950</u>
負債合計	<u>2,636,472</u>	<u>2,861,110</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	746,611	746,611
資本剰余金	717,611	717,611
利益剰余金	<u>△869,573</u>	<u>△1,423,962</u>
株主資本合計	<u>594,648</u>	<u>40,259</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,503	8,651
その他の包括利益累計額合計	<u>4,503</u>	<u>8,651</u>
少数株主持分	22,089	—
純資産合計	<u>621,241</u>	<u>48,910</u>
負債純資産合計	<u>3,257,714</u>	<u>2,910,020</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
売上高	6,634,342	5,348,314
売上原価	5,185,108	4,344,172
売上総利益	1,449,234	1,004,142
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	403,305	365,727
地代家賃	77,318	65,875
減価償却費	25,824	34,026
のれん償却額	53,369	1,001
貸倒引当金繰入額	4,175	5,806
賞与引当金繰入額	12,666	17,012
その他	535,895	284,329
販売費及び一般管理費合計	1,112,556	773,780
営業利益	336,677	230,361
営業外収益		
受取利息	1,926	2,344
受取配当金	1,724	349
債権譲渡益	—	1,058
その他	1,025	4,542
営業外収益合計	4,676	8,294
営業外費用		
支払利息	28,204	10,681
支払手数料	5,532	9,014
貸倒引当金繰入額	6,824	—
その他	882	995
営業外費用合計	41,443	20,691
経常利益	299,910	217,964
特別利益		
投資有価証券売却益	10	—
特別利益合計	10	—
特別損失		
固定資産除却損	37,299	—
投資有価証券評価損	48,787	53
本社移転費用	—	9,173
貸倒引当金繰入額	—	154,827
債務保証損失引当金繰入額	—	580,000
その他	5,934	1,378
特別損失合計	92,014	745,431
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	207,906	△527,467
法人税、住民税及び事業税	76,193	39,402
法人税等調整額	8,677	△12,113
法人税等合計	84,870	27,288
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	123,035	△554,756
少数株主損失(△)	△3,609	△366
四半期純利益又は四半期純損失(△)	126,645	△554,389

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益	123,035	△554,756
調整前四半期純損失(△)		
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,901	4,147
その他の包括利益合計	△8,901	4,147
四半期包括利益	114,134	△550,608
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,743	△550,241
少数株主に係る四半期包括利益	△3,609	△366

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	207,906	△527,467
減価償却費	73,854	42,554
のれん償却額	53,369	1,001
固定資産除却損	37,293	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△10	1,378
投資有価証券評価損(△は益)	48,787	53
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,885	158,042
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	—	580,000
受取利息及び受取配当金	△3,651	△2,694
支払利息	28,204	10,681
売上債権の増減額(△は増加)	△341,050	13,673
仕入債務の増減額(△は減少)	58,759	△267,815
未払債務の増減額(△は減少)	△61,573	13,841
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7,984	△37,602
その他	12,535	9,454
小計	115,325	△4,899
利息及び配当金の受取額	3,660	2,446
利息の支払額	△27,616	△12,177
法人税等の支払額	△94,624	△84,178
法人税等の還付額	23,626	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,370	△98,809
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△65,999	△108,781
無形固定資産の取得による支出	△12,212	△76,171
投資有価証券の売却による収入	1,210	3,720
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	26,386	—
貸付金の回収による収入	12,075	60,738
差入保証金の差入による支出	△1,768	△90,664
差入保証金の回収による収入	34,519	73,714
関係会社出資金の払込による支出	—	△12,348
その他	△14,551	△21,723
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,339	△171,516

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	166,502	△117,000
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△356,484	△188,600
配当金の支払額	△88	△18
その他	△22,873	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△212,943	△5,618
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△212,912	△275,944
現金及び現金同等物の期首残高	1,500,360	1,213,999
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,287,448	938,054

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間において、四半期純損失を554,389千円計上したことにより、株主資本の金額は前連結会計年度末に比べて、554,389千円減少しております。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年8月1日 至平成24年1月31日）

「II 当第2四半期連結累計期間 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年5月1日 至平成24年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (千円)
	インターネット 広告代理店事業 (千円)	アドネット ワーク事業 (千円)	情報メディア 事業 (千円)	クリエイティブ 事業 (千円)	計 (千円)	
売上高						
外部顧客への 売上高	4,011,622	1,277,588	34,417	24,685	5,348,314	5,348,314
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	507	793,924	868	—	795,299	795,299
計	4,012,129	2,071,513	35,286	24,685	6,143,614	6,143,614
セグメント利益 又は損失(△)	139,149	258,892	△2,611	9,616	405,046	405,046

(注) 前連結会計年度において、株式会社JPS、株式会社ベッコアメ・インターネットを連結の範囲から除外したため、報告セグメントから「データセンター事業」、「その他」を除外しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	405,046
「その他」の区分利益	—
セグメント間取引消去	△483
全社費用（注）	174,201
四半期連結損益計算書の営業利益	230,361

(注) 全社費用は、各報告セグメントに配分していない営業費用であり、主に管理部門に係る費用であります。



3. 報告セグメントの変更等に関する事項

インターネットマーケティング事業の展開に専念することを目的とした組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業」、「アフィリエイトサービスプロバイダー事業」、「インターネットメディア事業」及び「データセンター事業」の4区分から、「インターネット広告代理店事業」、「アドネットワーク事業」、「情報メディア事業」及び「クリエイティブ事業」の4区分に変更しております。

なお、当該報告セグメントの変更を反映した前第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及びセグメント利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりです。

	報告セグメント						その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	インターネット 広告代理店事業 (千円)	アドネット ワーク事業 (千円)	情報メデ ィア事業 (千円)	クリエイ ティブ事業 (千円)	データセン ター事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への 売上高	4,249,355	816,077	922,782	28,824	411,020	6,428,060	206,281	6,634,342
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,200	822,089	1,309	—	10,570	835,169	—	835,169
計	4,250,555	1,638,167	924,092	28,824	421,591	7,263,230	206,281	7,469,512
セグメント利益	265,206	194,257	19,678	9,110	30,131	518,384	2,442	520,826

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、CATV/ISP向け専用線サービス等を含んでおります。

4. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	518,384
「その他」の区分利益	2,442
セグメント間取引消去	517
全社費用(注)	184,666
四半期連結損益計算書の営業利益	336,677

(注) 全社費用は、各報告セグメントに配分していない営業費用であり、主に管理部門に係る費用であります。

(7) 重要な後発事象

当社は、平成24年12月7日開催の取締役会において、親会社であるフリービット株式会社に対して、第三者割当により当社普通株式を発行することを決議いたしました。

1. 募集の方法 第三者割当増資

2. 発行する株式の種類及び数、発行価額、発行総額、発行価額のうち資本へ組入れる額

(1) 発行する株式の種類及び数	普通株式	5,200株
(2) 発行価額	1株につき金	19,150円
(3) 発行総額		99,580,000円
(4) 発行価額のうち資本へ組入れる額	1株につき金	9,575円

3. 発行のスケジュール

払込期日 平成24年12月26日

4. 資金使途

運転資金等